

### 総合労働協約 改訂交渉スタート!

#### 要求の獲得に向けて主旨説明を行う

本部は、8月28日に第1回目の「総合労働協約改訂」交渉に入り、要求の主旨説明を行った。

要求内容は、各支部から集約した総合労働協約改訂の要求項目及び、7月10日、11日に開催した第36回定期大会における代議員からの発言を反映、8月9日に申第1号で会社側に申し入れた。

主な要求項目は、労働時間短縮の実施計画、年間休日120日への増加、36協定一部改正後の状況確認及び乗務員勤務における臨時勤務の限度等の改善、育児・介護休暇取得時における昇給の取り扱い改善、半休制度の適用勤務種別の拡大、保存休暇の使用範囲の拡大、多様な休暇制度の新設（配偶者出産・ボランティア・リフレッシュ等）、55歳以上の基本給支給率の改善及び適用時期の見直し、技能手当・職務手当の新設及び増額、添乗旅費の増額、夜間特殊業務手当及び指導手当の増額、B単価・C単価・F単価等の見直し、単身赴任手当の増額、SASの検査・診察・治療等の対応拡充、人間ドック受診対象年齢の拡大及び脳ドック等への補助、制服・防寒着

等の改善・支給、住宅補助金の増額、社宅退去時の修繕費用の廃止、通勤における特急列車の乗車特認の承認範囲及び特例条件の緩和、購入券の交付枚数の増、準組合員の短日数勤務制度の適用職種拡大及び乗務員の専用行路の新設、準組合員の生理・結婚の有給休暇新設、準組合員の育児休業制度の改善、準組合員の社宅・寮の利用条件緩和、平成30年3月までの就労する客室乗務員への手当の支給等、これまで積み残しとなっていた内容を65項目とした。

（詳しくは、JR四国労組ニュースNo.2を参照）

第1回交渉において組合側は、「我々を取り巻く経営環境は、LCCをはじめとする他交通機関との競争激化など先行きは不透明な状況にあるが、『明るく働きがいのある職場づくり』の観点及び職場の活性化と組合員の勤労意欲の高揚を図ることは極めて重要である」という基本的な認識を伝え、各々の要求項目について主旨を説明した。

組合側の主張に対して会社側は「会社の体力、貴側の要求趣旨を十分踏まえ、今後鋭意

基本賃金の改定及びサポーター社員のうち駅勤務者に関する適用ランクの一部改正を行う」との回答が出された。

これに対し組合側は、世間相場に対する考え方について確認するとともに、「エキスパート社員の賃金引き上げについては今年度の改定は行わない」との回答であったが、現在の厳しい要員需給の中でエキスパート社員の役割は非常に大きく、現在において、労働意欲の向上を図るためにも改善が必要である。また、契約社員の賃金引き上げについては、一部職種ではあるが実施され、労働条件の向上が図られたが、全国的に最低賃金の大幅な引き上げが行われていることからも、今回引き上げの対象となっていない地域の契約社員についても賃金の改善を図るべきである」と訴えた。また、次年度に向け「エキスパート社員及び契約社員の職場での任務や役割等は非常に大きくなっており、勤労意欲向上のためには今後賃金の改善・処遇制度の確立に向けた取り組みが重要である」と前向きな検討を要請した。

持ち帰り業務対策委員会を開催し検討した結果、一部ではあるが契約基本賃金の改善が図られたことから、労働条件の向上に向けて引き続き交渉を継続することを確認して妥結した。

また、ジェイアール四国バスの総合労働協約改訂等についても、8月9日に申第4号及び

び申第5号で会社側に申し入れ、8月28日の第1回交渉において組合側の要求実現に向けて主旨説明を行い、前向きな回答を示すよう強く申し入れた。

なお、交渉終了後、会社側より「ドリーム号乗務員における賃金・手当の見直し」についての提案と「社員登用試験の受験資格の特例扱い」について説明があった。

持ち帰り業務対策委員会を開催し、制度改善及び準組合員の賃金引き上げについては、引き続き粘り強く交渉を継続していくことを確認するとともに、今回新たに提案があった内容については、今後説明要求等を申し入れ、議論を進めていくこととした。

7月15日（土）、香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」において、「本部青年女性会議第25回定期委員会」が各支部から選出された35名の委員をはじめ、多数の来賓及び傍聴者の出席のもと盛大に開催された。

委員会は、新田副議長の開会挨拶で始まり、スローガンに「新化（未来に繋げる夢への挑戦）」を掲げ、常任委員会より一年間の活動経過及び活動方針案が提起された。

質疑では、36協定違反や要員確保、安全の取り組み、職場環境・労働条件の改善、ワークライフバランス、男女平等参画、青女議長の再専従化等について討議が行われ、その後、満場一致で全ての議事が承認された。

#### 本部青年女性会議 第25回定期委員会開催!

役員改選では、新田副議長をはじめ8名が退任し、再任された笹岡議長のもと今年度の運動をスタートした。

その後、尾上副議長より委員会宣言案が提起され、承認の後、青年女性会議の更なる飛躍を目指す「団結ガンバロー」で終了した。

なお、新役員（三役）は次のとおり。



- 議長 笹岡 慎平 (徳島支部)
- 副議長 宮西 悠司 (高知支部)
- 中内 章浩 (本社支部)
- 尾上連太郎 (香川支部)
- 高島 朋江 (本社支部)
- 橋本 大希 (本社支部)
- 事務長 橋本 大希 (本社支部)

#### 第2回本部執行委員会開催

8月5日（土）11時30分より、本部1階会議室において第2回本部執行委員会が開催された。

冒頭の挨拶で中濱執行委員長は「7月の第36回定期大会では延べ34名の代議員から運動方針・予算を補強する立場から発言があり、承認された。大会方針に掲げた「安全・安定・安心輸送の確立」をはじめとする3本の柱を中心とした一年間の運動を展開していきたい」と述べた。

なお、今回の執行委員会での経過報告と議

- ①特別執行委員の指定について
- ②平成29年度「総合労働協約改訂」の取り組みについて
- ③ユニオンスクール「フレッシュマンコース」の開催について
- ④アジア連帯委員会「第34次救済衣類を送る運動」への協力要請について
- ⑤第13回「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」総会の開催等について
- ⑥物流を止めないための「時間外労働の上限規制」に関する署名について
- ⑦当面するスケジュールについて
- ⑧その他



# 支部定期大会始まる!

各支部定期大会は、高知支部を皮切りに順次開催され、向こう一年間の活動方針等について活発な議論が行われた。

## 高知支部



8月26日(土)、高知県高知市「高知城ホール」において、代議員、特別代議員、傍聴者、来賓の出席のもと、高知支部第31回定期大会が開催された。大会は13時30分から、井村副執行委員長の開

## 第1回業務対策委員会開催

8月5日(土)10時40分より、本部1階会議室において「第1回業務対策委員会」が開催された。

本委員会では、各支部において集約された要求項目を、各委員からの意見等により精査し、あわせて36協定の一部改正後の状況を認めること等、今年度の要求項目をまとめた。さらに、今後開催される団体交渉において各委員は要求獲得に向け



て粘り強く交渉することを確認した。

会挨拶で始まり、資格審査委員長による大会成立宣言の後、議長に高知運輸所分会の古味代議員が選出された。

河野執行委員長は冒頭の挨拶で、36協定違反と働き方改革、安全・安定・安心輸送の確立、労働環境の改善、政治共闘の取り組み、四国新幹線の導入等について考えを述べた。その後、来賓から挨拶を受け、議事に入った。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査報告が行われ、質疑の後、平成29年度の活動方針案と予算案が提起され、再び質疑に入った。

代議員からは、36協定違反の経緯、要員の確保、労働環境の改善、組織問題、政策課題解決の取り組み、男女平等参画の取り組み等について質問や意見があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持って採択され、最後に河野執行委員長の団結ガンパ

## 自動車支部

9月5日(火)、香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」において、代議員、特別代議員、傍聴者、来賓の出席のもと、自動車支部第34回定期大会が開催された。

- 執行委員長 河野 憲司  
副執行委員長 芝 茂和  
書記長 坂本 譜成  
山本 光明  
真二

## 教育・広報委員会

8月16日(水)15時より、本部1階会議室において「教育・広報委員会」が開催された。議事では、昨年度の取り組みが報告され、今年度の取り組みが提起された。

## 平成29年度教育・広報委員会 サークル協議会運営委員会開催

①次世代を担う人材の育成、②各級機関における実践教育の推進、③JR四国労組運動の実践と継承、の3つを重点テーマとして、ユニオンスクール充実及び教育活動の強化に向けて取り組みを確認した。



大会は14時30分から、西村副執行委員長の開会挨拶で始まり、資格審査委員長による大会成立宣言の後、議長に松山自動車分会の白石代議員が選出された。

また、教育・広報委員会終了後の16時より「サークル協議会運営委員会」が開催され、議事では、担当部からの経過報告の後、大会方針で掲げたレク・サークル活動の目的を再確認し、ゴルフ大会、ドッジボール大会など、今年度の本部主催行事について確認した。

実施への対応及び労働条件改善の取り組み等、多くの課題の解決に向けて、明るく働きがいのある職場づくりを指し、先頭に立ち奮闘する決意を述べた。その後、来賓から挨拶を受け、議事に入った。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査報告、平成29年度活動方針案と予算案が提起され質疑に入った。

代議員からは、労働条件改善に向けた取り組み、効率化施策等について質問があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持って採択され、最後に上田執行委員長が団結ガンパローで終了した。

なお、役員改選に伴い新役員が選出された。新三役は次のとおり。

- 副執行委員長 西村 公夫  
書記長 竹崎 教幸  
書記次長 岩本 敏幸

## 徳島支部



9月7日(木)、徳島県徳島市「ホテルクレメント徳島」において、代議員、特別代議員、傍聴者、来賓の出席のもと、徳島支部第31回定期大会が開催された。大会は13時30分から、

## 平成29年度部会三役会議開催

8月17日(木)15時30分より、本部1階会議室において「部会三役会議」が開催された。議事では、昨年度の取り組みが報告され、今年度の取り組みが提起された。

また、職場における

山中副執行委員長の開会挨拶で始まり、資格審査委員長による大会成立宣言の後、議長に徳島管理駅分会の平岡代議員が選出された。

井内執行委員長は冒頭の挨拶で、結成30年を迎えて会社を取り巻く環境が大きく変化する中、安全・安定・安心輸送の確立、運輸収入の確保や労働条件の改善に向けた取り組みの他、政策課題の解決に向けた地元議会等との政治共闘について触れ、今後の運動を更に強化していく決意を述べた。その後、来賓から挨拶を受け、議事に入った。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査報告、平成29年度運動方針案と予算案が提起され質疑に入った。

代議員からは、労働条件改善に向けた取り組み、要員の確保、36協定の改正、契約社員

換、列車見張員やワンマン列車の安全対策、ICカード導入等について質問があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持って採択され、最後に井内執行委員長が団結ガンパローで終了した。

- 新三役は次のとおり。  
執行委員長 井内 貴志  
副執行委員長 播磨 範一  
書記長 山口 浩二  
西口 昌裕  
智也

## 第27回ゴルフ大会の開催について

とき 10月19日(木) 8時30分集合  
ところ 御所カントリークラブ  
(徳島県板野郡上板町引野字安楽寺谷90-10)  
TEL 088-694-3135

お申込は各支部まで!

## JR 連合賃金実態調査を実施!

全組合員のご協力をお願いします!!

対象者: 全組合員 (出向以外の休職者及び準組合員を除く)

対象賃金: 平成29年9月分の月例賃金 (9月25日) 給与明細書による

集約日: 10月2日(月) 本部必着